



命を守る力を育てた7月

6月下旬から7月にかけて、いじめ予防、交通安全、薬物乱用防止、着衣泳など、命や安全について考える学びが続きました。安全は、誰かに守ってもらうだけでなく、危険に気づき、自分で考え、よりよい行動を選ぶことが大切です。

また、5年生の集団宿泊活動など、仲間とともに考え、体験を通して学びを深める姿も多く見られました。1学期の学びを振り返りながら、自分の生活と結び付けて考える7月となりました。

自分で考え、命を守る

— 安全に関する学び —

1学期末には、さまざまな場面で安全について考える学習を行いました。内容はそれぞれ異なりますが、どの学習にも共通しているのは、危険に気づき、自分で考え、よりよい行動を選ぶ力を育てることです。

6月24日、スクールロイヤー（学校内弁護士）による「いじめ予防教室」では、4年生以上の子どもたちが、友だちとの関わり方や、相手を傷つける言葉や行動について考えました。心の安全を守るためには、自分の言動を振り返ること、困っている人に気づくこと、そして一人で抱え込まずに相談することが大切であることを学びました。

7月7日
と13日、交通安全協会による交通安全教室を行い、4年生が自転車の安



全な乗り方や、交差点での確認の仕方を学びました。子どもたちは、実際の場面を想定しながら、自転車に乗るときに気をつけることを

確かめました。4年生は、今後、地域の道路で自転車に乗る機会が増えていきます。今回学んだことを生かしながら、自分の命を守るとともに、周りの人の安全にも気を配って行動できるよう、学校でも引き続き指導していきます。

7月13日、西部保健所による薬物乱用防止教室では、薬物が心身に



与える影響や、誘われたときに断る勇気の大切さについて6年生が学びました。「自分には関係ない」と考えるのではなく、正しい知識をもち、自分の未来を守る判断力を育てることが大切です。

7月15日の5・6年生着衣泳指導では、万が一水の事故に遭ったときに、慌て



ず浮いて待つことの大切さを体験を通して確かめました。夏休みには水辺で過ごす機会もありますが、川や池、用水路などには大きな危険があります。子どもたちだけで川遊びをすることは絶対にしないよう、学校でも指導しています。ご家庭でも、水辺での過ごし方について確認をお願いいたします。

安全は、誰かに守ってもらうだけのものではありません。自分の命を守ること、周りの人を大切にすること、そのために今どのような行動を選ぶのかを考えることが大切です。一人一人が自分の生活と結び付けながら、命を守る学びを深める時間となりました。

仲間とともに学んだ2日間

7月1日
～2日、5年
生は香々
地青少年
の家で集
団宿泊活
動を行いま
した。学校



を離れ、自然の中で仲間とともに過ごした2日間は、子どもたちにとって大きな学びの時間となりました。

宿泊先では、「規律」「協同」「友愛」「奉仕」を大切にしながら、さまざまな活動に取り組みました。時間を守ること、自分の役割を果たすこと、友だちと協力することなど、日頃の学校生活でも大切にしていることが、より具体的な形で求められます。

活動の中では、友だちと声をかけ合ったり、困っている人を助けたりする姿が見られました。思うようにいかない場面でも、仲間と相談しながら行動し、自分たちで乗り越えようとする姿が育っていました。

また、自然の中で過ごすことで、学校では味わうことのできない体験にも出会うことができました。仲間と生活をともにする中で、一人一人の行動が集団全体につながっていることを実感できたのではないかと思います。

この2日間の経験は、5年生がこれから学校のリーダーへと成長していくための大切な一歩です。集団宿泊活動で学んだことを、これからの学校生活に生かしてほしいと思います。

よりよく伝えるために考える

6月
24日、
5年生
国語科
の授業
研究会
を行いま
した。



本校では、今年度、国語科「書くこと」の領域を中心に校内研究を進めています。今回の授業では、香々地での集団宿泊活動を題材

に、子どもたちが調べた情報を整理し、友だちに分かりやすく伝える文章を書く学習に取り組みました。

子どもたちは、「バスで酔わない方法」や「夜ぐっすり眠れる方法」など、自分たちにとって必要感のある情報をもとに、何を伝えようと役に立つのかを考えていました。調べたことをそのまま書くのではなく、似ている内容をまとめたり、伝えたいことにつながる情報を選んだりしながら、文章の構成について考える姿が見られました。

また、授業では思考ツールやタブレット端末を活用し、自分の考えを整理したり、学びの過程を振り返ったりしました。友だちの考えにふれながら、「どの情報を選べばよいのか」「どうまとめれば分かりやすいのか」と考えを深める姿もありました。

今回の提案授業を通して、子どもたちは根拠をもとに考え、よりよく伝えようとする学びを深めました。こうした学びは、今年度大切にしている「真実」の学びにもつながっています。

未来へ向けて

明日、1学期の終業式を迎えます。4月からの学校生活を通して、子どもたちは学習や行事、日々の生活の中で少しずつ力を伸ばしてきました。

7月7日の期末育友会等では、これまでの活動の振り返りや今後の取組について確認を行いました。今学期も、授業参観や各種行事、登下校の見守り、学校環境の整備など、さまざまな場面で保護者・地域の皆様にお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。

夏休みには、学校を離れて過ごす時間が増えます。安全に気をつけながら、家庭や地域の中でさまざまな経験を重ね、心も体も健やかに過ごしてほしいと思います。

また、今年度は、京町、誠和町、高瀬本町、大宮町で育友会主催の町内懇談会が開催されます。地域の皆様と意見を交わしながら、子どもたちをともに見守り、支えていく機会にしたいと考えています。